

VERTEX Information

施工事例集

～既設塗膜撤去不要な対策工法例～

ASフォーム工法(緩衝材仕様)



施工前

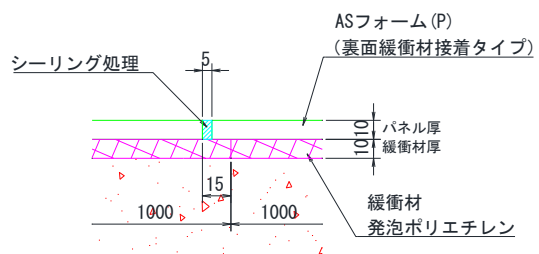
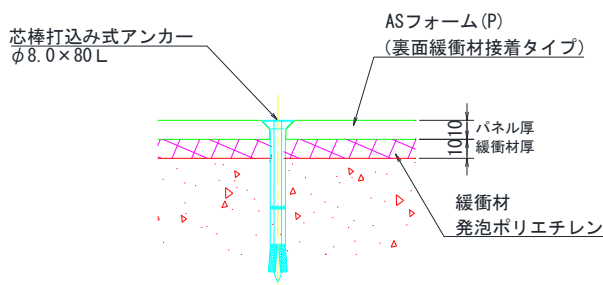
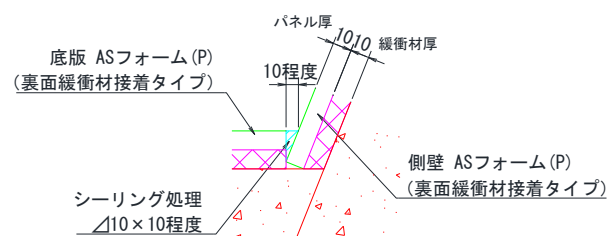
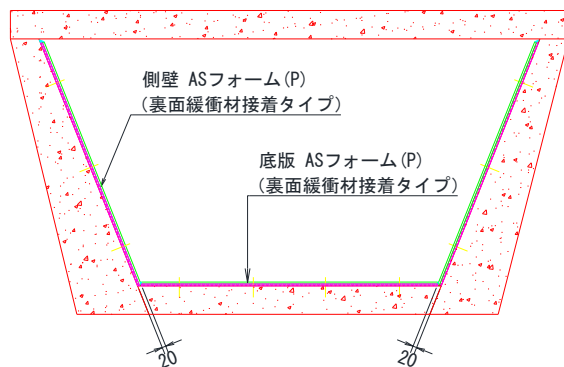


施工完了

対象構造物	水路構造物	劣化・変状	有機系被覆材の経年劣化
目的	水路改修、耐摩耗対策	施工時期	平成29年01月
採用工法	ASフォーム工法(緩衝材仕様)	工法仕様	パネル厚 t=10mm(レジンパネル) 緩衝材 t=10mm(発泡ポリエチレン)
施工数量	120m ²		
採用理由	<p>有機系被覆工法が施工された水路橋で、経年劣化に伴う膨れ等が確認された。本水路橋は高速道路上を横断しており、大がかりな仮設や飛散による車両への影響のない工法選定が求められた。再補修の際は、超高压洗浄や人力はつり等による既設塗膜材の撤去が必要である為、飛散対策が不可欠である。そこで、既設塗膜撤去無しで施工が可能であり、粗度改善効果のある「ASフォーム工法(緩衝材仕様)」が採用された。</p> <p>① 既設塗膜撤去せずに施工対応が可能(アンカー固定方式) ② 断面縮小率が小さく、粗度改善の効果もあり、流量を確保できる。 ③ 耐摩耗性、経済性に優れている</p>		

断面図等

【断面図及びパネル詳細図】



施工手順

①



材料搬入(緩衝材付きパネル)

②



パネル組立工

③



アンカー工(削孔)

④



アンカー工(打設)

⑤



パネル:t=10mm+緩衝材:t=10mm

⑥



パネル目地工(プライマー塗布)

⑦



パネル目地工(シーリング処理)

⑧



既設目地補修工 ⇒ 施工完了

